キャラクター名：竜胆　零凪（りんどう　れな）

プレイヤー名：

シンドローム	モルフェウス ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	37 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	0	0			3
感覚	3	1	0			4
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
CDN-LIND:W	射撃	7r+7		18		対象ﾄﾞｯｼﾞﾀﾞｲｽ-2 @8
	射撃	8r+7		18		侵食値60+ 対象ﾄﾞｯｼﾞﾀﾞｲｽ-2 @8
	射撃	9r+7		18		侵食値80+ 対象ﾄﾞｯｼﾞﾀﾞｲｽ-2 @8
	射撃	11r+7		29		侵食値100+ 対象ﾄﾞｯｼﾞﾀﾞｲｽ-2 @7 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：0　合計回避：0

所持品	
リニアキャノン	
ロックオンサイト	
インプラントミサイル	
メモリー	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
岸保カリ	P　庇護	N　食傷		
リザル	P 好奇心	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　2　残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ﾊｰﾄﾞﾜｲﾔｰﾄﾞ	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：専用アイテム*[LV]個常備								
ﾎﾟﾙﾀｰｶﾞｲｽﾄ	1	4	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	100↑	
効果：攻撃力+[選択した武器の攻撃力]								
ｺﾝｾ:ﾓﾙﾌｪｳｽ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：C値-LV(下限7)								
ｶｽﾀﾏｲｽﾞ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	射撃	-	
効果：ダイス+[LV]個								
ﾚｲﾝﾌｫｰｽ	5	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：攻撃力+[LV*2]								
ｸﾘｽﾀﾗｲｽﾞ	2	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100↑	
効果：攻撃力+[LV*3] 装甲無視 1ｼﾅﾘｵ3回								
ｷﾞｶﾞﾝﾄﾗﾝｽ	1	20	ﾒｼﾞｬｰ	視界	ｼｰﾝ選択	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	120↑	
効果：ｼｰﾝ選択射程視界化 1ｼﾅﾘｵ1回								
砂の加護	3	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	-	
効果：ダイス+[LV+1]個 1ﾗｳﾝﾄﾞ1回								
ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ&ｵﾝｴｱ	★	1	ﾒｼﾞｬｰ	視界	効果	自動	-	
効果：無線ジャックする。								
ｾｷｭﾘﾃｨｶｯﾄ	★	1	ﾒｼﾞｬｰ	至近	効果	自動	-	
効果：セキュリティを突破する								
ﾃｸｽﾁｬｰﾁｪﾝｼﾞ	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：持ってるものの見た目変更。								
効果：								
効果：								

生まれながらにオーヴァードだった彼女は、12年前どこかもわからぬ養成施設で暮らしていた。
外界から遮断された空間で、彼女は同様の異能力を持つ子どもたちと一緒にFHとしての教育を施されていた。
人間らしい教育は最低限にとどまり、大抵は道徳から外れた、言ってしまえば「人殺し」の為の教育。
彼女にとってそれは「日常」であったが、同時に「退屈の象徴」でもあった。

ーーーーーーーー私は、本当にこの為に生まれてきたのか？

そんなある日、施設職員からゴミの後片付けを半ば強引に押し付けられた彼女は、ゴミ捨て場で一冊の本を拾う。
それは酷くボロボロで劣化しているが、何の変哲もない、どこにでも有るファッション誌であった。
しかし、一切の外界情報を持っていなかった彼女にとって、それはとても興味深く、刺激的なものであった。
こんなきれいなお洋服があるのか、こんなきれいなお化粧が出来るのか、こんなにも笑顔で溢れているのか。
ボロ布同然の自分の姿格好と見比べても、まるで別次元とも思わせるほどの差があった。
彼女はコレを見た瞬間、「本当に自分がやりたいこと」を自覚したのである。

ーーーーーーーー私自身が、この素晴らしい世界の一員となること。
　　　　　　　　そして、こんな素晴らしい世界を守らなければならないこと。

　　　　　　　　この力があれば、それが出来るはずだ。

そう決心した彼女は、無二の親友である岸保カリと共に、この狂った養成施設からの脱出計画を企てるのであった。

ーーー